

2. 火山の概況

(平成 16 年 6 月 24 日 ~ 平成 16 年 6 月 30 日)

浅間山では地震がやや多い状態が続いた。火山活動度レベル（以下レベルと記載）は2。

三宅島では噴煙活動が継続した。

阿蘇山では熱的な活動が引き続き活発で、小規模な土砂噴出が継続した。レベルは2。

霧島山では御鉢の噴気活動はやや活発な状態が続いている。

桜島では噴煙活動が活発であった。レベルは2。

薩摩硫黄島では連続的な火山性微動が発生した。

諏訪之瀬島では噴火があった。

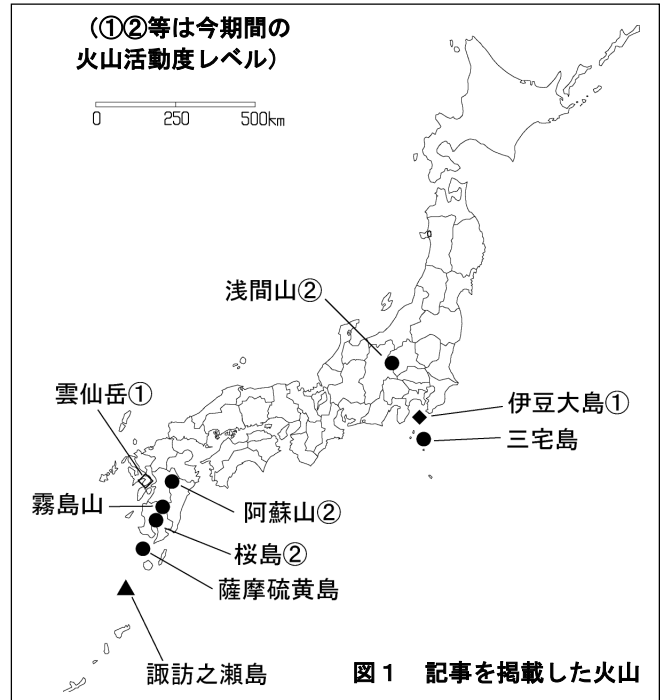


図1 記事を掲載した火山

表1 最近1か月に記事を掲載した火山

号	対象期間	浅間山		伊豆大島		阿蘇山		雲仙岳		桜島		富士山	三宅島	福徳岡ノ場	霧島山	薩摩硫黄島	口永良部島	諏訪之瀬島
		レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号							
27	6/24-6/30	②	●	①	◆	②	●	①	◇	②	●		●		●	●		▲
26	6/17-6/23	②	●	①	●	②	●	①	◇	②	▲		●	●	●	●		◆
25	6/10-6/16	②	●	①	◇	②	●	①	◇	②	●		●		●	▲	◆	▲
24	6/3-6/9	②	●	①	◇	②	●	①	◇	②	●		●		●	●	●	▲
23	5/27-6/2	②	●	①	◇	②	●	①	◇	②	◇		●		●	▲	●	

注1 記号の意味

▲：噴火した火山

●：活動が活発な状態にあるか、もしくは観測データ等に変わった火山

◆：前期間まで▲や●で掲載し、その後の状況等を掲載した火山

◇：その他記事を掲載した火山

①②等の丸付き数字：火山活動度レベル

注2 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、変化があった観測データ項目を示す。

● **浅間山 [地震・微動・噴煙・熱] レベル2 (やや活発な火山活動)**

振幅の小さい地震は、昨年6月末頃からやや多く観測されるようになっており、今期間も1日あたり16~49回とやや多い状態が継続した。また、振幅の小さい火山性微動が1回観測された(前期間は7回)。

山麓の監視カメラでは、白色の噴煙が最高で火口縁上800mまで上がるのが観測された。

赤外カメラ(群馬県林務部が火口縁に設置)では、引き続き火口底に高温部が確認された。

◆ **伊豆大島 レベル1 (静穏な火山活動)**

地震活動は22~23日(前期間)の一時活発化後静かな状態で推移し、噴煙活動、地殻変動等の観測データにも特段の変化はなかった。

● **三宅島 [噴煙・地震]**

白色噴煙は山頂火口から連続的に噴出しており、期間中の高さの最高は火口縁上800mであった。

振幅の小さい、やや低周波の地震は、1日あたり21~45回とやや多い状態で推移した。

● **阿蘇山 [土砂噴出・微動] レベル2 (やや活発な火山活動)**

中岳第一火口では熱的な活動が引き続き活発で、小規模な土砂噴出が継続した。

監視カメラにより中岳第一火口に湯だまりが観測され、28日には湯だまりの色は灰色、30日には湯

だまりの量は約3割で小規模な土砂噴出が発生しているのが確認された。

期間中、火山性連続微動が継続した。また、孤立型微動は今期間 334 回発生し（前期間は 261 回）、依然としてやや多い状態が継続している。

噴煙は白色で、噴煙の高さの最高は火口縁上 600m（前期間 300m）であった。

地殻変動等その他の観測データには特段の変化はなかった。

◇ 雲仙岳 レベル1（静穏な火山活動）

地震活動、噴煙活動とも静穏であった。その他の観測データにも特段の変化はなかった。

● 霧島山 [噴気]

御鉢火口の噴気活動はやや活発な状態が続いている。28～30 日に時々噴気が遠望カメラで観測され、その最高は火口縁上 100m であった。

● 桜島 [噴煙] レベル2（比較的静穏な噴火活動）

期間中、桜島で噴火と計数している規模の噴火はなかったが（前期間は爆発的噴火が 1 回）、噴煙活動は活発で、火山灰を含む有色噴煙（灰白色）が 28～29 日に観測され、有色噴煙の高さの最高は 29 日の火口上 500m であった。

今期間、鹿児島地方気象台（南岳の西南西約 11 km）では降灰は観測されなかった（前期間は 17 日に降灰量 0 g/m^2 （1 平方メートルあたり 0.5 g 未満の微量）を観測）。

● 薩摩硫黄島 [微動]

期間中、噴火は発生しなかったが、24 日及び 28～30 日に連続的な火山性微動が発生した。

▲ 諏訪之瀬島 [噴火・微動]

30 日 17 時 50 分に噴火を観測した。噴煙の高さは 1000m（灰白色）で西へ流れた。火山性微動は噴火に伴うものを含め 3 回発生した（前期間は 1 回）。十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、期間中、集落（御岳の南南西約 4 km）で降灰は観測されなかった。

表 2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
三宅島	火山観測情報第 348 号 ↓（1 日 2 回発表）	24 日 09:30 ↓	活動経過ほか（噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想）。
	火山観測情報第 361 号	30 日 16:30	
	火山観測情報第 362 号	30 日 18:00	第 98 回火山噴火予知連絡会の三宅島についての統一見解。
阿蘇山	火山観測情報第 34 号	25 日 11:00	火山活動は引き続きやや活発（湯だまりの高温状態継続、湯量約 3 割、小規模な土砂噴出が数カ所で発生、一部露出し噴気孔形成、微動連続状態）。レベルは 2。